



MS341-58025/58026

フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
 本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
 取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
 なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-58025-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ヴェルファイア エアロ '18.01~
MS341-58025-C0	ブラック (202)	
MS341-58025-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS341-58025-C2	パーニングブラッククリスタルシャインガラスフレック (222)	
MS341-58026-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

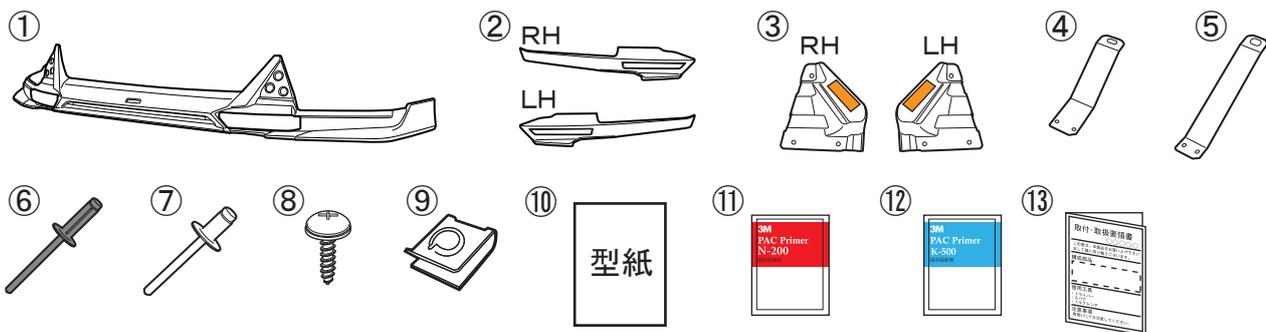
No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	アウターピース R/L	各1	
③	インナーピース R/L	各1	
④	ブラケットA	2	短
⑤	ブラケットB	2	長
⑥	リベットA	10	黒
⑦	リベットB	8	銀
⑧	タッピングスクリュー	2	5×16
⑨	Jナット	2	
⑩	型紙	1	
⑪	PACプライマー N-200	1	赤袋
⑫	PACプライマー K-500	1	青袋
⑬	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS341-58026-NP（未塗装品セット）のみに同梱

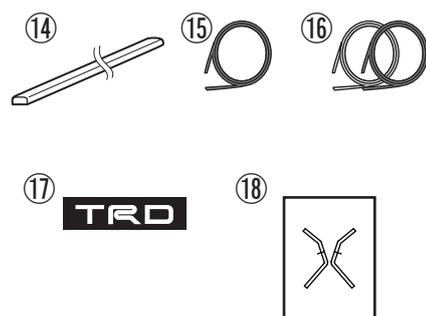
No.	品名	個数	備考
⑭	メッキモール	1	L=720
⑮	モール	1	黒 :L=1500
⑯	モール	各1	黒 :L=600、グレー :L=600
⑰	エンブレム	1	
⑱	マスキングテープセット	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS341-58026-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール⑯推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン（070）	グレー
ラグジュアリーホワイトパールクリスタルシャインガラスフレーク（086）	グレー
ブラック（202）	ブラック
パーニングブラッククリスタルシャインガラスフレーク（222）	ブラック
スチールフロントメタリック（4X1）	グレー
グラファイトメタリック（4X7）	ブラック

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❶ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❶ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❶ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❶ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❶ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❶ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❶ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❶ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業様へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要項 4～14
5. 取付け完了後の点検、注意事項 14

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/4.0mm/7.0mm）・保護メガネ
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

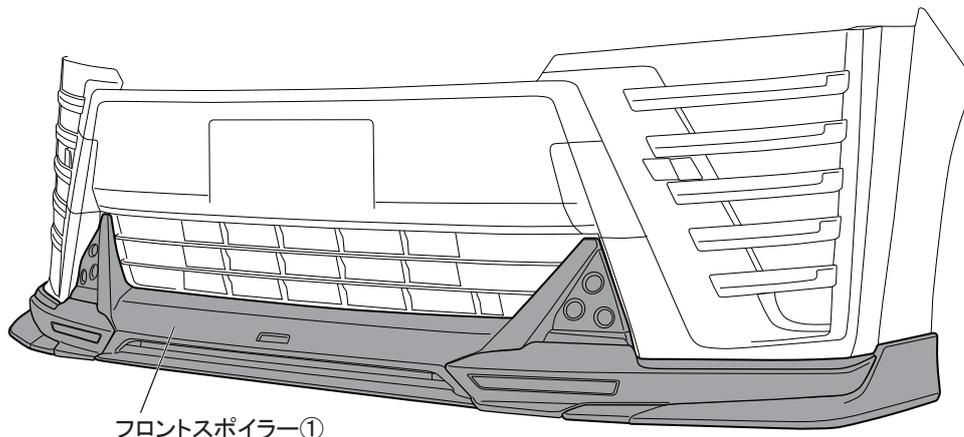
■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

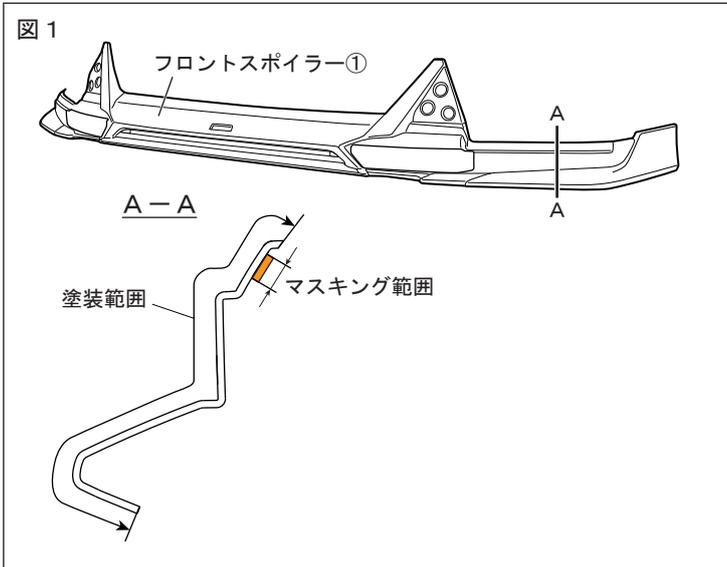


【塗装済み品の取付けは、8ページに進み作業を行なってください。】

■未塗装品の取扱いについて

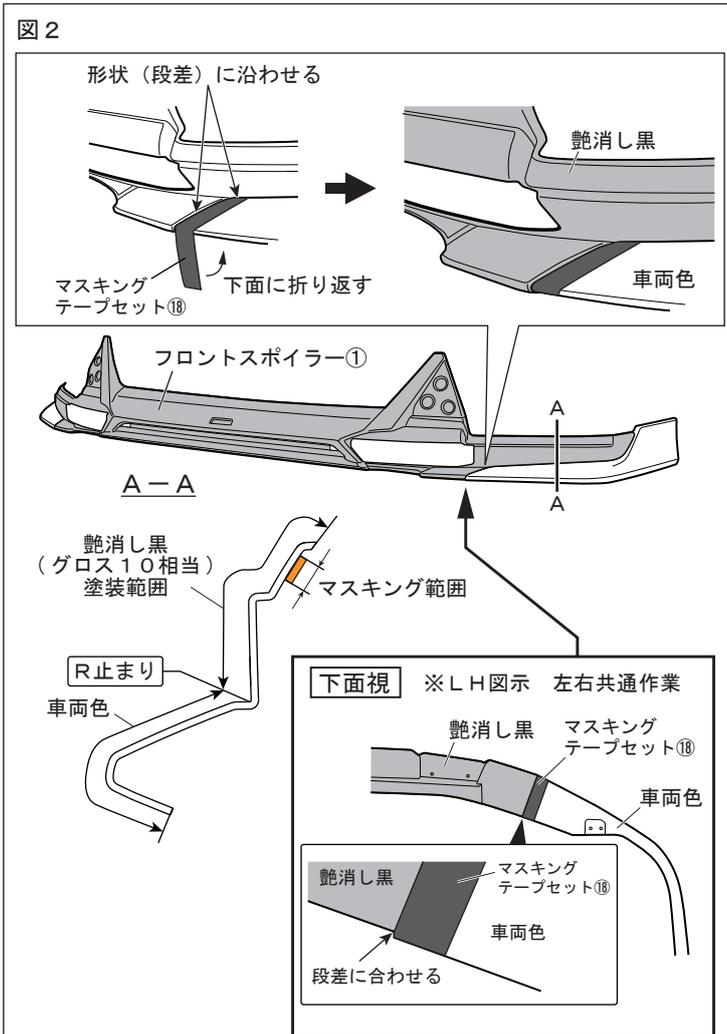
下記は未塗装品（MS341-58026-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。



□フロントスポイラーの塗装

1. 図1のようにフロントスポイラー①を車両色で塗装する。



2. 図2のようにフロントスポイラー①にマスキングテープセット⑩を貼り付けてマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

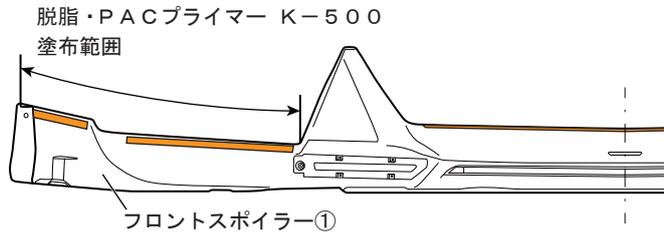
図3

裏面視

※LH図示 左右共通作業

断面図

脱脂・プライマー
塗布範囲



□モールの貼付け

- 図3のようにモール⑮⑯貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑫を塗布する。

△注意:プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス:脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意:PACプライマーK-500⑫は、フロントスポイラー取付けの際も使用するため、乾燥しないように保管してください。

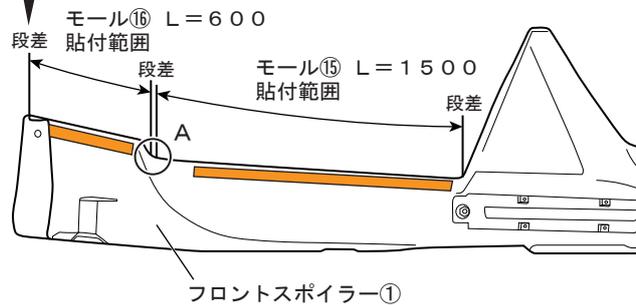
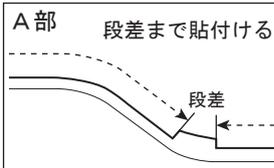
図4

裏面視

※LH図示 左右共通作業

上面視

段差
段差まで貼付ける



断面図

傷付き注意

巻き込みに注意し
隙間の無いように
貼付ける

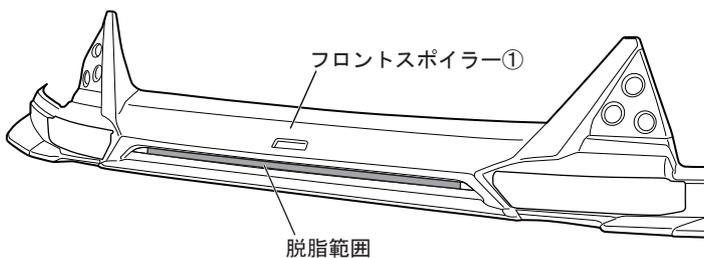
モール⑮⑯

- 図4のようにフロントスポイラー①にモール⑮⑯の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意:モール⑯は、二色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意:両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図5

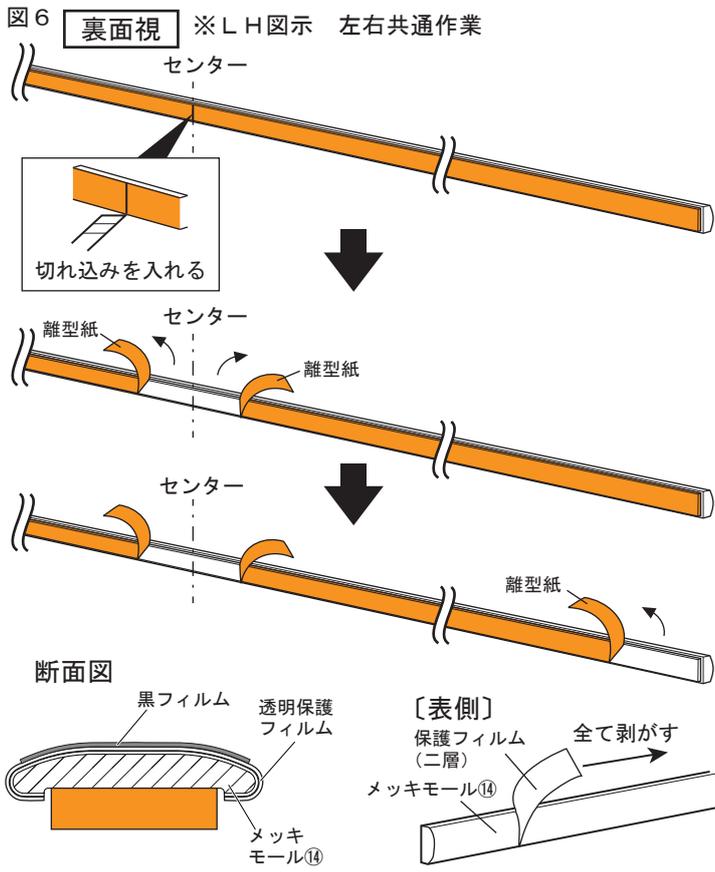


□メッキモールの貼付け

- 図5のようにメッキモール⑭貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂する。

△注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

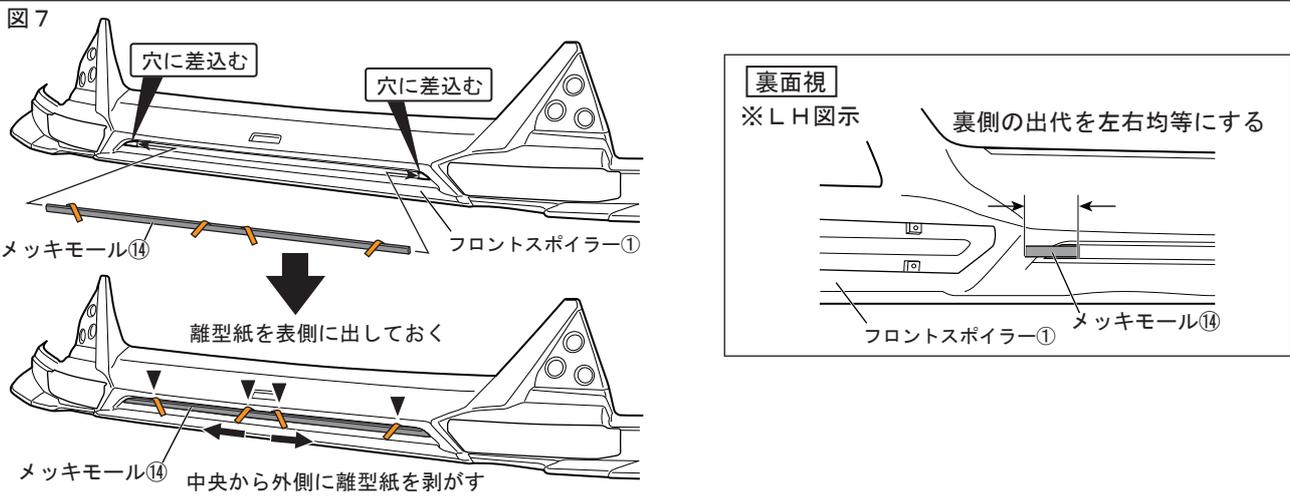
👉アドバイス:脱脂後は、十分に乾燥させてください。



2. 図6のようにメッキモール⑭離型紙のセンターに切り込みを入れる。
3. 切り込みを入れた離型紙を30mm程度左右にめくる。
4. メッキモール⑭の左右端部の離型紙をめくる。
5. メッキモール⑭表側の保護フィルム(二層)を全て剥がす。
※保護フィルムは二層とも剥がしてください。

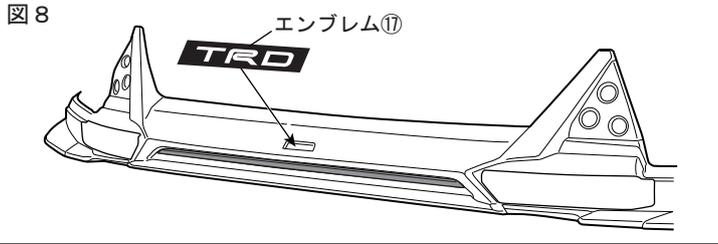
6. 図7のようにメッキモール⑭左右端部をフロントスポイラー①の穴に差し込む。
※穴に差し込んだ際に離型紙をフロントスポイラー①の表側に出してください。
7. フロントスポイラー①センター部にメッキモール⑭を合わせて中央から離型紙を剥がしながらメッキモール⑭を貼り付けて圧着する。

△注意: 穴に差し込んだメッキモール⑭の出代を左右均等にしてください。



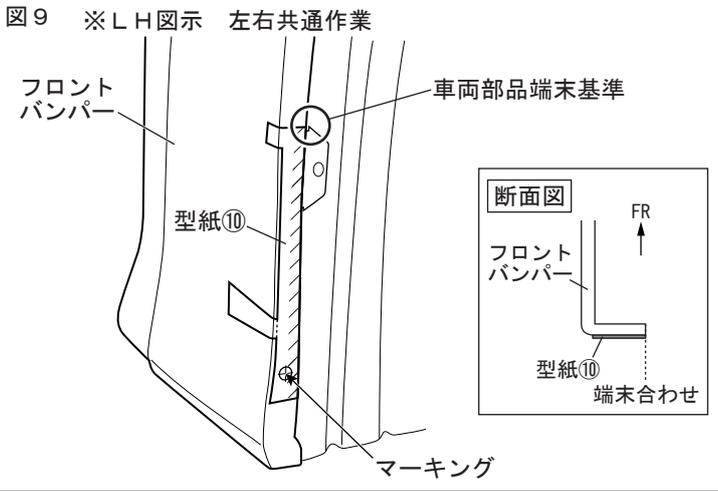
👉 **アドバイス** 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。

⚠️ **警告** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。



□エンブレムの貼付け

1. 図8のようにフロントスポイラー①中央の座面を脱脂し、エンブレム⑱を貼り付け圧着する。

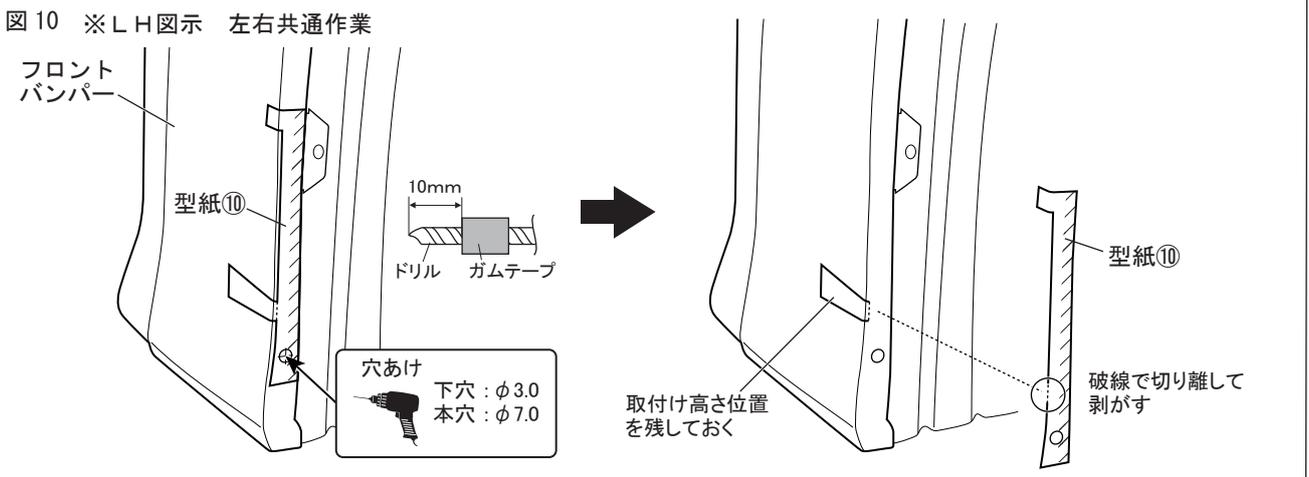


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラー取付準備

1. 図9のようにフロントバンパーのホイールハウス部に型紙⑩を貼り付け、マーキングする。

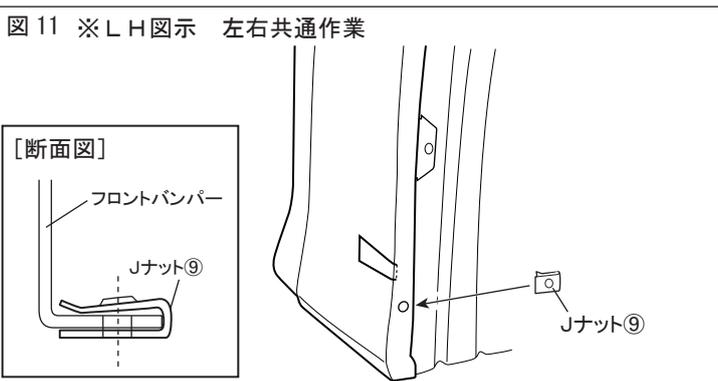
2. 図10のように型紙⑩を破線に沿って切り離し、ドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、マーキングに合わせて下穴をφ3.0であけ、φ7.0の本穴をあける。



🔧 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

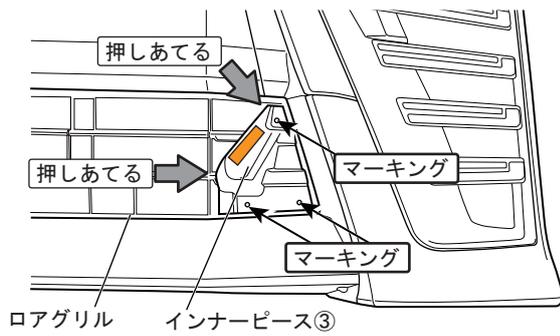
⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

3. 穴周囲のバリを除去する。



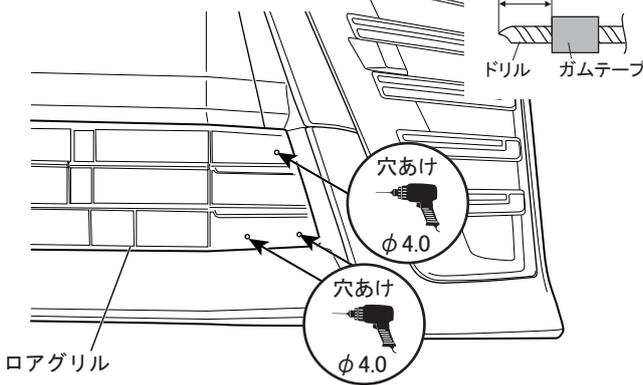
4. 図11のように2.であけた穴にJナット⑨を取り付ける。(左右各1箇所)

図 12 ※LH図示 左右共通作業



5. 図 12 のようにロアグリル左右にインナーピース③をかぶせ、図示矢印の方向に押しあてて位置決めし、穴位置に合わせてマーキングする。(左右各3箇所)

図 13 ※LH図示 左右共通作業



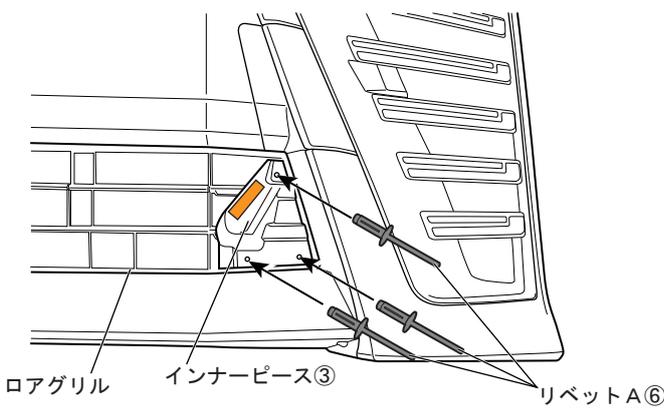
6. インナーピース③を取り外す。

7. 図 13 のようにドリルにストッパーになるようにゴムテープを巻き、マーキングに合わせてφ4.0の本穴をあける。(左右各3箇所)

👉 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

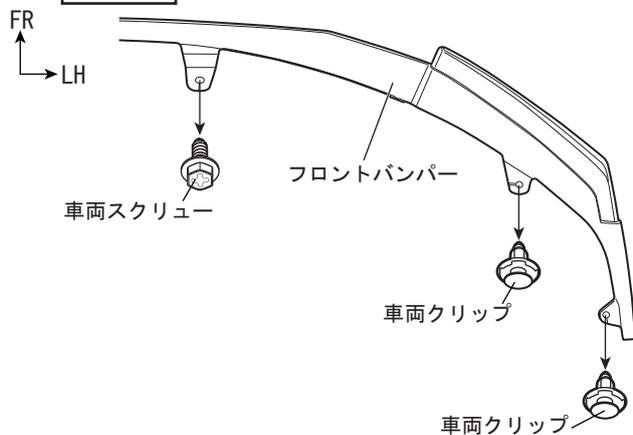
⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

図 14 ※LH図示 左右共通作業



8. 図 14 のようにロアグリル左右にインナーピース③をかぶせ、穴位置に合わせてリベットA⑥で固定する。(左右各3箇所)

図 15 下面視 ※LH図示 左右共通作業

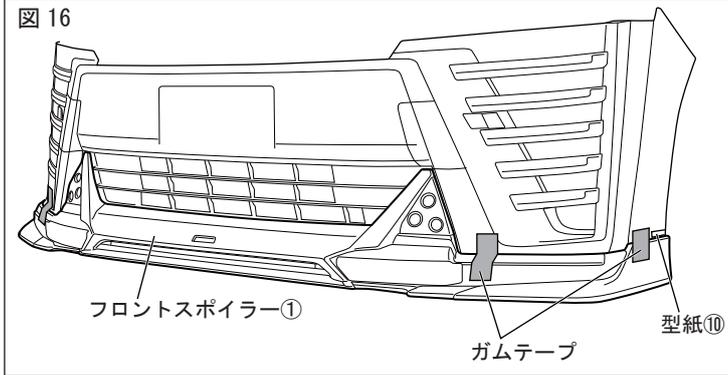


9. 図 15 のようにフロントバンパー下面の車両スクリュー、車両クリップを取り外す。

- ・ 車両スクリュー 左右各1箇所
- ・ 車両クリップ 左右各2箇所

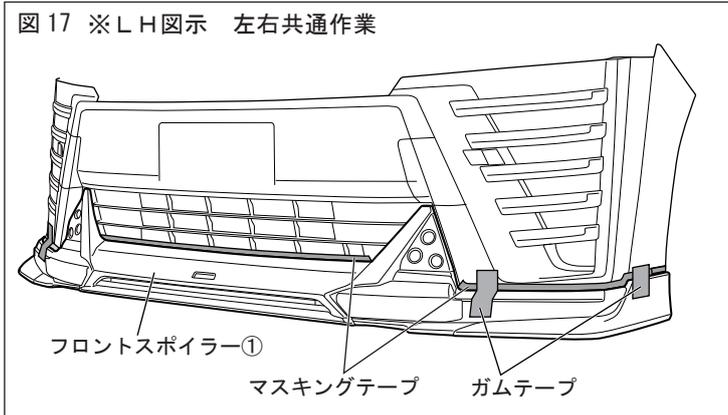
⚠️ **注意:** 取り外した車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図 16



10. 図 16 のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①をかぶせ、フロントスポイラー①のモール上端を型紙⑩の取り付け高さに合わせてガムテープ等で仮固定する。

図 17 ※LH図示 左右共通作業

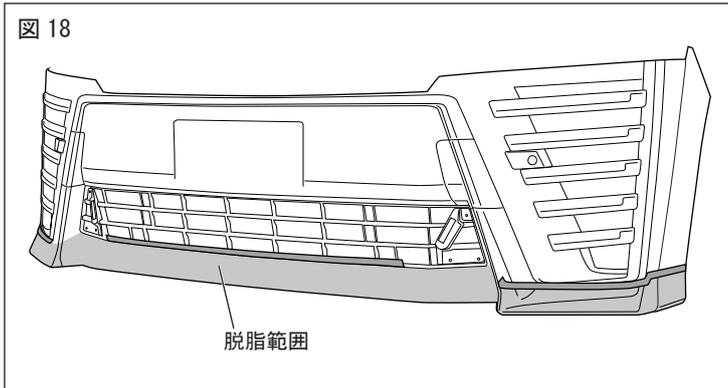


11. 図 17 のようにフロントスポイラー①の上端（モール貼付け部はモール上端）に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

12. フロントスポイラー①を取り外す。

図 18

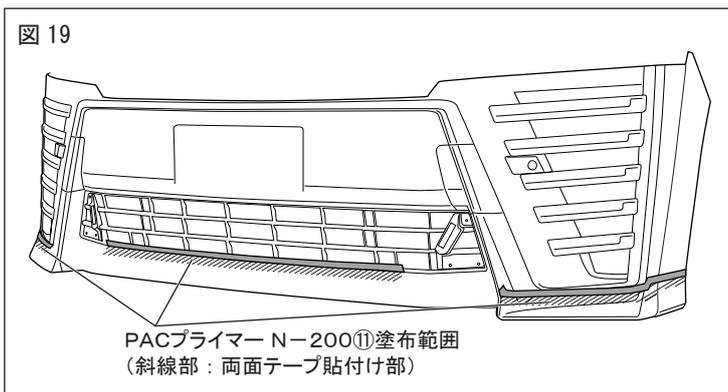


13. 図 18 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

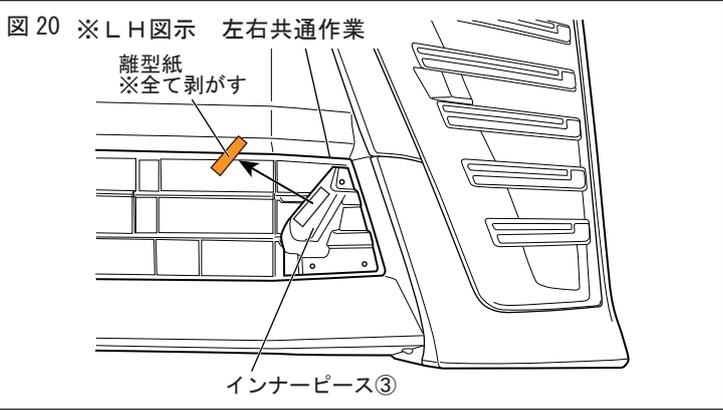
図 19



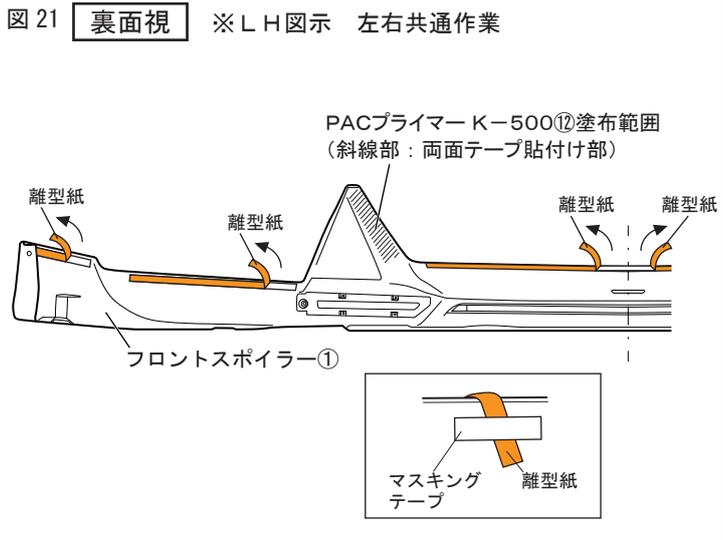
14. 図 19 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼付け部（左図斜線部）にPACプライマーN-200⑪を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

15. マスキングテープを剥がす。
※型紙⑩は剥がさないでください。



16. 図 20 のようにインナーピース③の両面テープの離型紙を全て剥がす。(左右各1箇所)



17. 図 21 のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープ貼付け部 (左図斜線部) にPACプライマーK-500⑫を塗布する。
(左右各1箇所)

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

18. 図 21 のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

フロントスポイラーの取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

1. 図 22 のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を型紙⑩の取付高さ位置を合わせてかぶせ、ホイールハウス部をタッピングスクリュー⑧で仮締めする。(左右各1箇所)

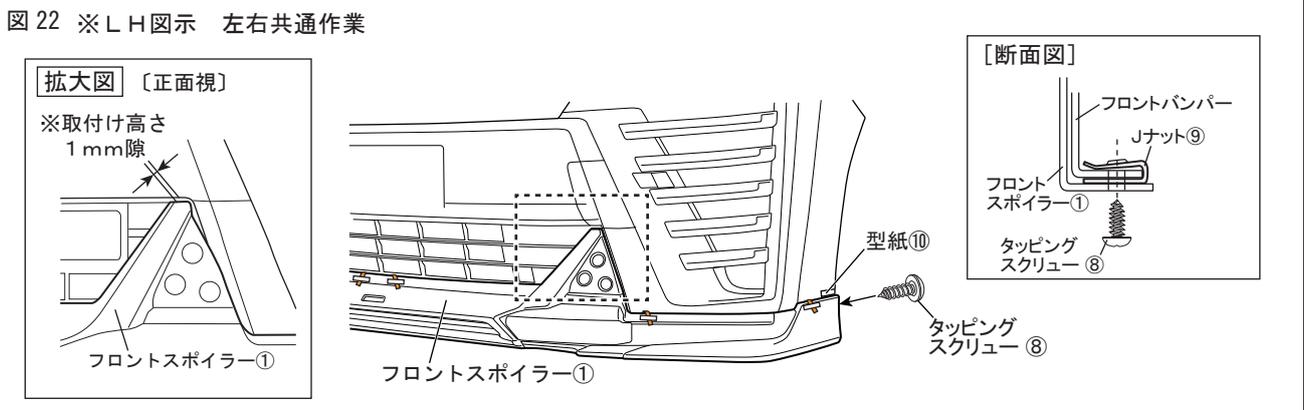
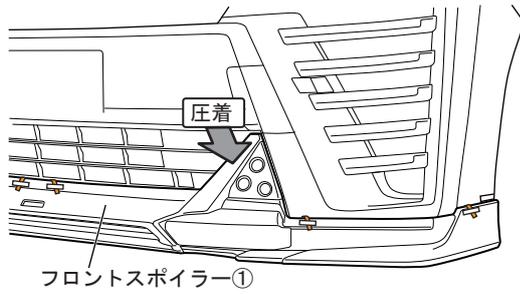
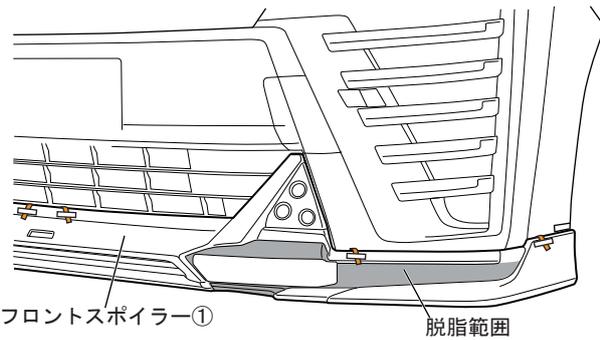


図 23 ※LH図示 左右共通作業



2. 図 23 のようにフロントスポイラー①の取り付け位置を確認し、インナーピース③の両面テープ貼付け部を圧着する。

図 24 ※LH図示 左右共通作業

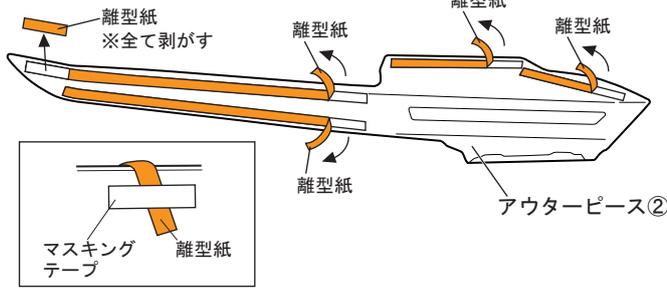


3. 図 24 のようにフロントスポイラー①の OUTERPIECE②貼付け部の汚れを取り除き、IPA 又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。(左右各1箇所)

⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

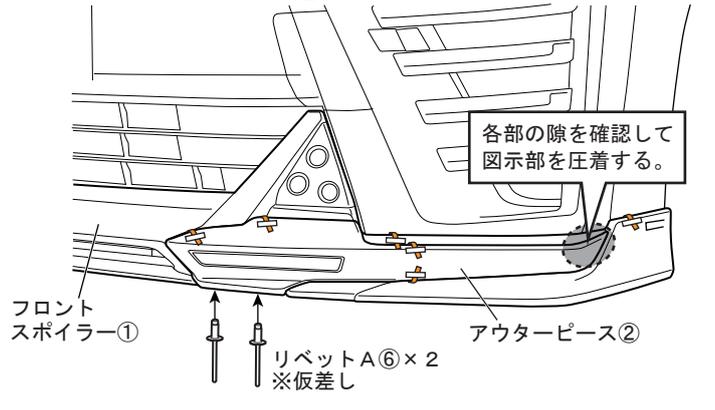
図 25 ※LH図示 左右共通作業



4. 図 25 のように OUTERPIECE②の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

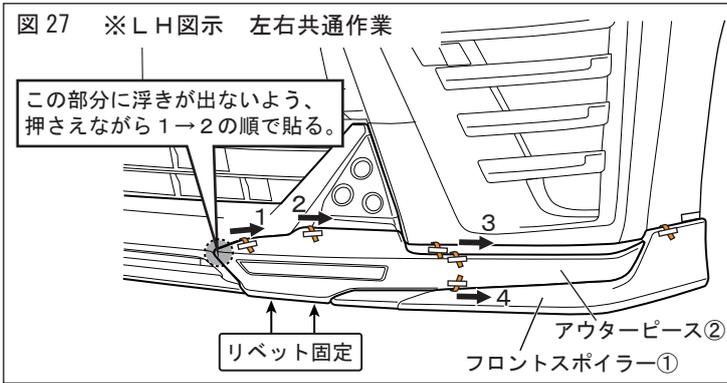
⚠注意: 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

図 26 ※LH図示 左右共通作業



5. 図 26 のようにフロントスポイラー①に OUTERPIECE②をかぶせ、下面の穴にリベット A⑥を仮差しして仮固定する。(左右各2箇所)

図 27 ※LH図示 左右共通作業



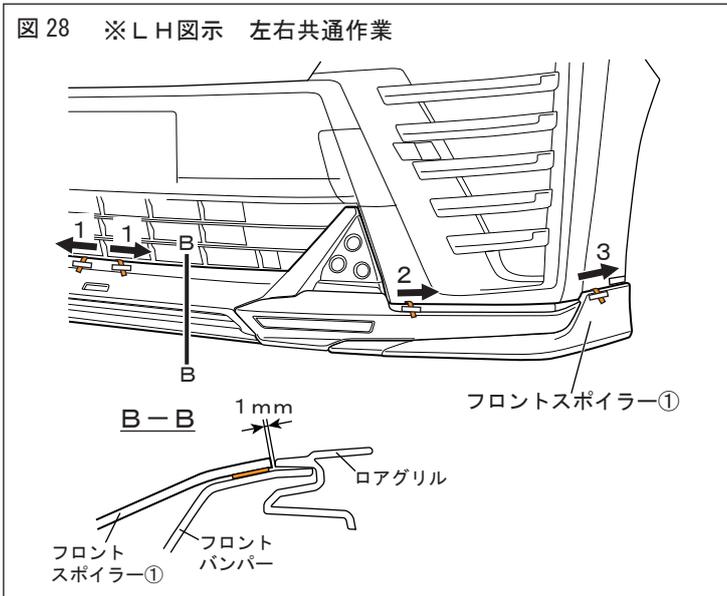
6. 図 27 のように取付け位置及び各部の相沿いを確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
7. 圧着後、仮差したリベットA⑥を固定する。(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図 28 ※LH図示 左右共通作業



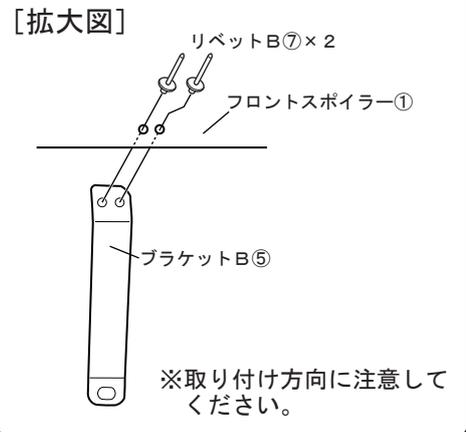
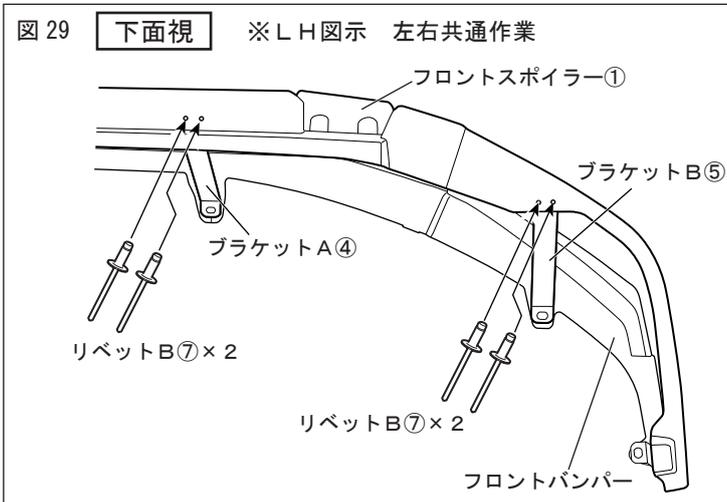
8. 図 28 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

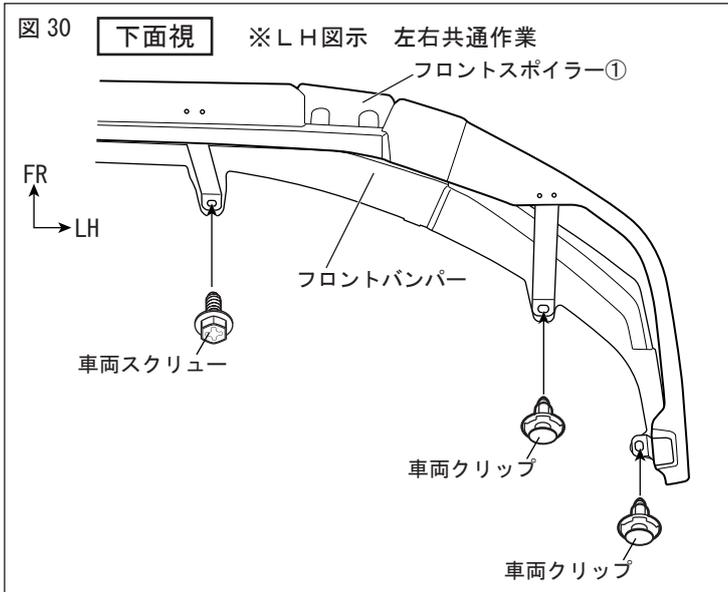
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

9. 型紙⑩を剥がす。

10. 図 29 のようにフロントスポイラー①下面にブラケットA④、ブラケットB⑤をリベットB⑦で固定する。(左右各2箇所)

図 29 下面視 ※LH図示 左右共通作業





11. 図 30 のようにフロントスポイラー①下面を車両スクリュー、車両クリップで固定する。

- ・ 車両スクリュー 左右各1箇所
- ・ 車両クリップ 左右各2箇所

12. 仮締めしていたホイールハウス部のタッピングスクリュー⑧を本締めする。
(左右各1箇所)



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。